祇園新道の開通が地域の開発と活性化を支える

沿線の開発と商業の活性化に効果

- 広島市北部から中心部に連絡する国道54号の交通混雑解消を主目的に、それに代わる幹線道路として、祇園新道が開通。
- ラッシュ時には約1時間49分かかっていた広島市安佐南区緑井～広島市中区紙屋町間が、完成後は約44分に。
- 地下に共同溝、地上には新交通システム（アストラムライン）を整備するなど、祇園新道は多くの機能を持つ。
- 広い植樹帯や副道によって騒音や排気ガスが低減され、良好な沿道環境を形成。
- バブル経済崩壊の煽りを受けて下落する一方の地価が、祇園新道沿線では住宅地や商業地でそれぞれ上昇。
- 沿線の開発と商業の活性化に一役かっている。

●祇園新道（祇園新橋付近）

祇園新道によって国道54号がこんなに早くなりました。

安佐南区緑井1丁目 → 中区紙屋町

ラッシュで約1時間49分かかりました

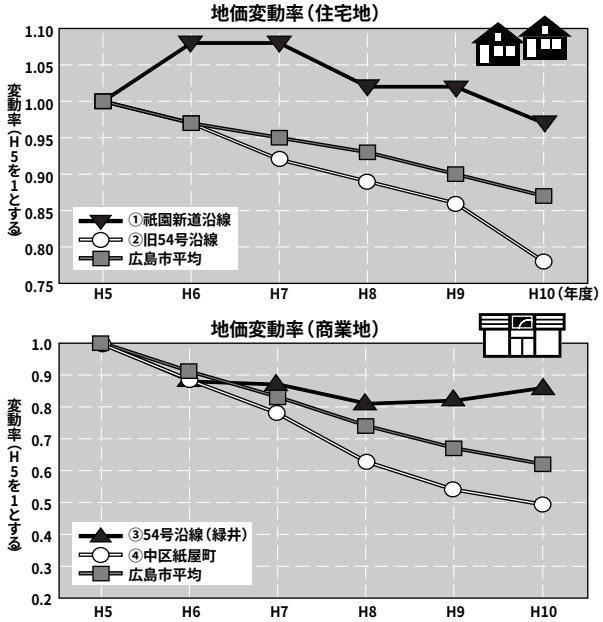
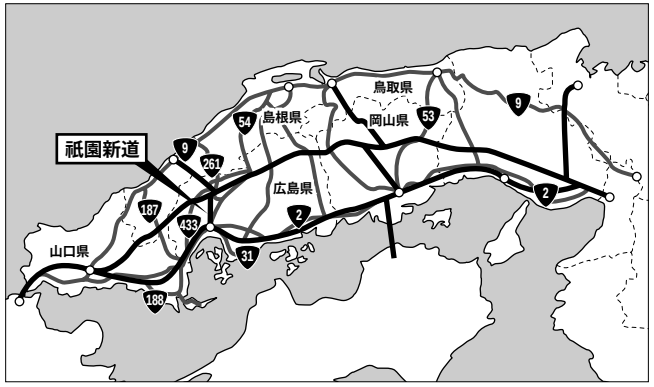
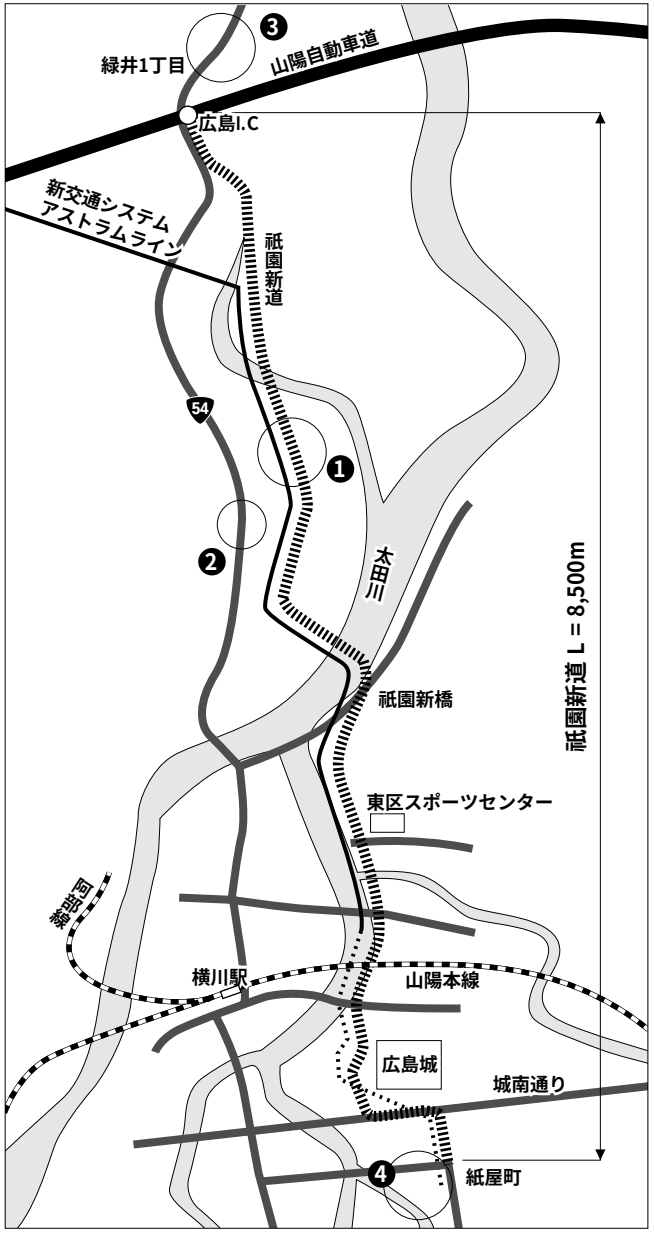
完成前 →

完成後 → 1時間5分短縮

ラッシュでも約44分で行けます

上段:昭和62年10月　下段:平成6年10月

●地価変動率の推移



資料／都道府県地価調査（国土庁ホームページ）財産評価基準書（路線価図H5～H10）